

2010年10月22日

SaaS 型の文書共有サービス「SecureXD」を開始

～著作権管理技術の応用により、文書共有時の情報漏えい防止を実現～

株式会社日立情報システムズ（取締役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、韓国の Fasoo.com,Inc（以下 Fasoo 社）が有する著作権管理技術（DRM：Digital Rights Management）の応用により、オフィスソフト等で作成した文書・帳票等を社外へ送受信する際の情報漏えいを防止する SaaS 型のサービス「SecureXD（セキュアエックスディ）」を、本日より開始します。

お客様は「SecureXD」の利用により、現状のシステム環境を活かしたまま高額の投資をすることなく、文書を共有する際のセキュリティを強化できます。

機密情報が含まれた文書を社外の特定制者と共有する際には、メールの誤配信や特定者以外への転送などにより、情報漏えいのリスクを伴いました。

今回、日立情報が開始する「SecureXD」は、DRM の応用により、Microsoft® Office アプリケーションなどで作成された文書や帳票等を、社外の特定制者と情報漏えいの心配なく安心して送受信・共有できる SaaS 型のサービスです。ワープロや表計算・プレゼンソフト等で作成された文書の暗号化に加え、e メールアドレスをベースにした認証基盤の提供により、メールの誤配信や特定者以外への不用意な転送等による情報漏えいを防止します。これにより、PDF や EXE ファイル等の中間フォーマットへ変換することなく、普段利用しているオフィスソフトのフォーマットのまま社外特定制者との文書共有を安全に・安心して行えます。

また、文書の利用状況を常時監視しますので、文書の開封確認・使用ログの管理、送信後の利用権限再設定（ドキュメントの廃棄）などの機能により、情報の不正利用を防止します。さらに、受信者へ権限を付与すれば編集などの共同作業も可能です。

なお、「SecureXD」のセキュリティ基盤には、DRM 専門企業として蓄積した経験とノウハウを基盤に設計された Fasoo 社の製品「Fasoo Secure Exchange」を利用しています。また、日本でのサービス開始に際しては、韓国の LG HITACHI Ltd.より技術支援を受けています。

日立情報では「SecureXD」を、日立グループのクラウドソリューション体系である「Harmonious Cloud」のひとつとして国内企業を中心に拡販し、2012 年度までに 4 億円（累計）の売上達成を目指します。

< 「SecureXD」の特長 >

- ・ Microsoft® Outlook® と連携し、メール送信時に添付ファイルを暗号化することが可能です。
- ・ オフィスソフト等の各種アプリケーション（Microsoft® Office、PDF、WordPad、Notepad 等）で作成されたファイルを、中間フォーマットに変換することなく暗号化します。
- ・ メールアドレスを利用した認証方式のため、社外ユーザの ID/パスワードの管理が不要です。
- ・ 文書の閲覧、編集、印刷、画面キャプチャー等の機能使用可否を制御します。
- ・ 文書の閲覧回数、期間、PC 台数、廃棄までを制御でき、送付済みのドキュメントも簡単に廃棄（失効制御）が可能です。

< 提供価格（税込み） >

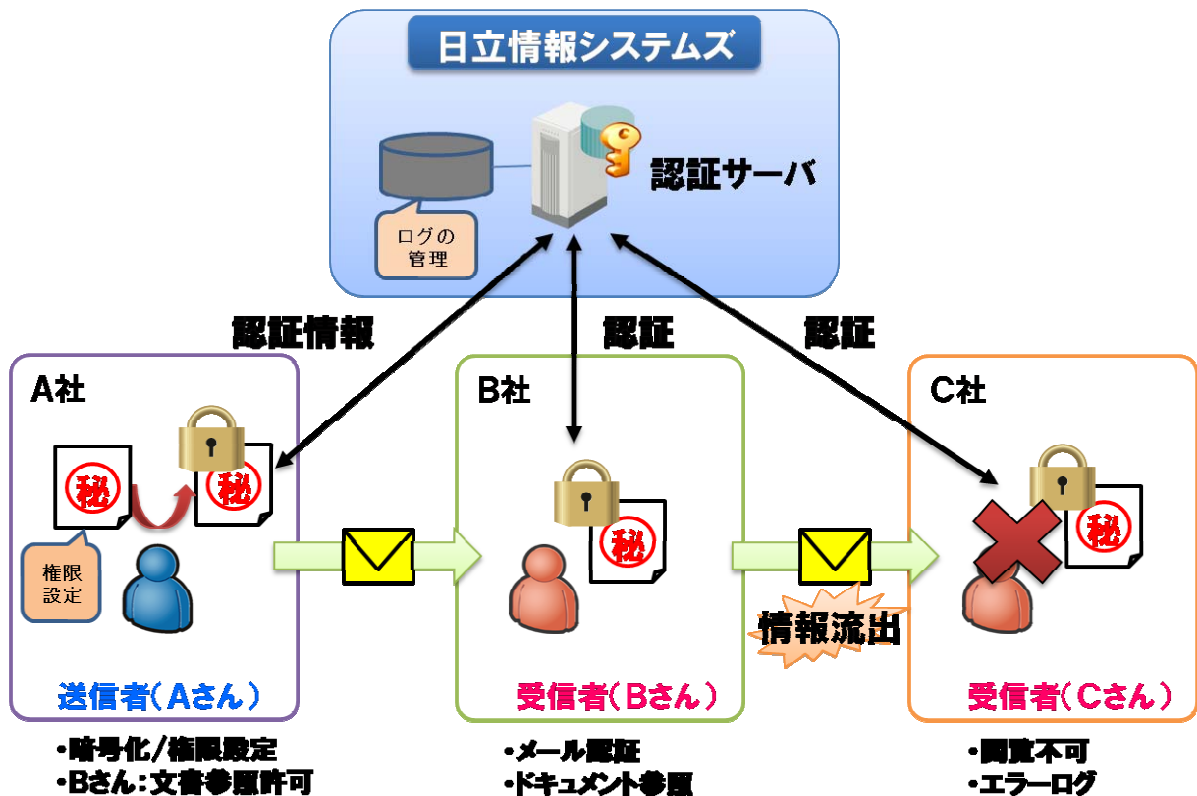
1 ユーザあたり 3,150 円/月～

* 初期導入費用が別途必要です。

< 「SecureXD」 対応アプリケーション >

アプリケーション	バージョン	対応フォーマット
Microsoft® Office	XP、2003、2007	doc、xls、ppt、 docx、xlsx、pptx ほか
AcrobatReader®	7.x、8.x、9.x	.pdf
WordPad/Notepad	Windows® XP、Windows Vista®	.txt、.rtf

< 提供イメージ >



< Fasoo 社について >

韓国及びグローバルなセキュリティ Solution を展開しており、韓国企業「SAMSUNG グループ」をはじめエンタープライズセキュリティとして 710 社（2010 年 5 月基準）の出荷実績があります。

* 記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

* Harmonious Cloud は、株式会社日立製作所の登録商標です。 (<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>)

< お客さまからのお問合せ先 >

商品問い合わせ窓口

お問い合わせ Web フォーム: <http://www.hitachijoho.com/contact/>

< 報道機関の問い合わせ先 >

CSR 本部 コーポレート・コミュニケーション部 松林、杉山

TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) email: press@hitachijoho.com

以上